

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 1 回	相談支援推進	部会	参加者数	40 人	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	25 年 13:30	6 月 ～	7 日 (金) 16:00				
主 テ ー マ	<p>1 挨拶</p> <p>2 今年度の活動計画について</p> <p>3 研修:「相談面接技術のいろはのい」</p>							
主 な 意 見 な ど	<p>1 について</p> <p>○森岡部会長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所立ち上げ、さらには相談支援専門員のレベルアップ、ネットワークづくりを目的として、25年度は研修等企画していく。積極的なご参加をお願いしたい。 <p>○辰野地域相談体制支援アドバイザーより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26年度末までにサービスを利用するすべての障害者を対象に、サービス等利用計画の作成が必要になる。 ・プロとして相談支援専門員のレベルアップ、そのための研修を実施し、よりよいサービス等利用計画の作成につなげたい。サービス利用者の視点を大切に進めていただきたい。 <p>2 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25年度は、相談支援専門員の研修会を3回ほど予定している。 ・県自立支援協議会・人材育成部会の研修会の実施が、上伊那圏域で数回、見込める予定。こちらにもぜひご参加いただきたい。 ・この部会を相談支援専門員のレベルアップとネットワークづくりのための「相談支援専門員連絡会」につなげていく。ヨコのつながりを大切に、スムーズな移行を進めたい。 <p>3 について</p> <p>○「相談面接技術のいろはのい」(講師:きりあ 唐木専門員)</p> <p>◇目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人援助の手段としての相談面接技術の基本を学ぶ。 <p>◇内容</p> <p>①『面接』とは</p> <p>②面接の構成要素(面接の目的、面接の形態と物理的条件、コミュニケーション技法としての相談面接技術)</p> <p>③DVD視聴による学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接におけるラポールと傾聴の重要性 ・傾聴のために必要な基本的な面接技術 ・バーバル、ノンバーバル(非言語的)コミュニケーション ・面接を成功させる終わりの言葉 <p>◇方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ6名、6グループに分かれて実施。 ・講義、DVD視聴、グループ討議と発表、講師コメントを適宜織り交ぜ、実施。 							
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回ということで、相談面接技術の基本について研修した。 ・研修を重ねる中で、ご意見等いただきながら、次回の内容につなげていけるよう調整していきたい。 							
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回の開催日時等、詳細は後日お知らせする予定。 							

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 2 回	相談支援推進	部会	参加者数	25 人	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	25 年	9 月	24 日 (火)				
主 テ マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談支援研修 2 連絡会立ち上げについて 3 連絡事項 							
主 な 意 見 な ど	<p>開会、挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の議題にもあるが相談支援専門員の連絡会も立ち上げていきたい。 ・ニュース等で知っていると思うが無資格者の計画申請があった。上伊那でもそういうことが起きないようにしていきたい。 <p style="padding-left: 20px;">計画内容についても切磋琢磨しレベルアップできるよう勉強してもらいたい。</p> <p>相談支援研修</p> <p style="padding-left: 20px;">「相談のいろはのろ」(講師:きらりあ 唐木専門員)</p> <p style="padding-left: 20px;">アセスメントからニーズの把握まで</p> <p style="padding-left: 20px;">グループに分かれて実施</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)事例検討資料よりアセスメント票にグループ討議しながら記入し100文字要約まで行う 各グループの討議内容を発表 (2)アセスメント票よりグループ毎ニーズのまとめを行う 各グループより発表 <p>連絡会立ち上げについて</p> <p style="padding-left: 20px;">部会長より・・・相談支援は人の価値観を大事にする支援。仲間と一つのケースをつくっていくことが大事になる。連絡会をつくっていく方向でよいか。</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局で準備し、調整していきたい。</p> <p style="padding-left: 20px;">連絡会は今年度中、出る出ない関係なく月1回、又は二月に1回実施したい。</p>							
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回はニーズを導き出す為の手法について研修した。 ・専門員連絡会を準備実施していく。 							
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回はケア会議の演習を予定している。開催日時等、詳細は後日お知らせする予定。 							

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第3回 相談支援推進 部会	参加者数	34 人	会場	伊那市福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	26年 3月 13日(木) 13:30 ~ 15:45				
主 題 マ	<p>第一部 上伊那圏域地域自立支援協議会 第3回相談支援推進部会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 サービス等利用計画作成のいろはの「は」 2 就労継続支援B型利用のためのアセスメントについて 3 今年度のまとめ <p>第二部 上伊那圏域相談支援専門員連絡会(仮称)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相談支援専門員の会について 					
主 な 意 見 な ど	<p>第一部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 について <ul style="list-style-type: none"> サービス等利用計画作成に関わる3回目の学習会を実施した。 (1)講師:きらりあ 唐木就業支援ワーカー (2)内容:ケア会議について (3)方法:ロールプレイ (4)概要 <ul style="list-style-type: none"> ・架空のケア会議(第一回目)を設定。 参加者:本人、母親、町保健師・行政担当者、相談支援専門員 計5人。 目的:本人の状況を確認し、支援の方向性を話し合う。 ・設定に基づく事務局メンバーのロールプレイを見て、ケア会議の基本的な進め方及び留意点について学びを深めた。 ・要所、要所で唐木講師が、相談支援専門員として、ケア会議を進行するためのポイントを要約・整理し、自身の経験に基づくコメントも加えながら、解説を行った。 ・デモンストレーションを実際に見ることで、イメージを膨らませ、ケア会議の流れやそれぞれの局面における相談支援専門員の果たすべき役割、立ち位置や介入のしかたなどを確認することができた。 2 について <ul style="list-style-type: none"> (1)講師:きらりあ 唐木就業支援ワーカー (2)内容:就労継続支援B型利用のためのアセスメントについて (3)方法:パワーポイントによる説明 (4)概要 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度以降の就労継続支援B型利用のためのアセスメントについて、架空事例をもとに、手続きをスモールステップに細分化して分かりやすく説明したパワーポイントを見ながら、理解を深めた。 ・詳細については、第4回就業支援部会議事録 3(2)を参照のこと。 3 について <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援推進部会は、平成24年度に立ち上げ、2年間にわたり活動してきたが、今回をもって、相談支援専門員連絡会(仮称)への発展的解消を図ることとなった。 <p>第二部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 について <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援推進部会を発展的に解消し、相談支援専門員の集まる場を新たに作っていくこととなった。 ・日頃の悩みを出し合ったり、お互いの情報交換、事例検討会などを通して、相談支援専門員同士のヨコのつながり、連携を深めていけるような会にしていきたい。 ・名称、役員構成などを含め、詳細は、本日実施したアンケートの声などを集約しながら、検討していく。 ・会の運営が軌道に乗るまでは、暫定的にきらりあが中心となって企画・参加を呼びかけていく。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・ケア会議の進め方や就労継続支援B型アセスメントについて、理解を深めることができた。 ・相談支援専門員連絡会(仮称)の立ち上げを行い、今後の活動の方向性について議論することができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、3回の部会を開催してきた。多くの皆様のご参加、ありがとうございました。 ・来年度、相談支援専門員連絡会(仮称)へも、ぜひ積極的なご参加をお願いいたします。 					